

高拡散光農POフィルムは

カゲナシ^{なごみ}和

で決まり!

光拡散性

散乱角度が大きく
ハウスの隅々まで
光を届ける!

防滴性

耐久性

耐硫黄性

保温性



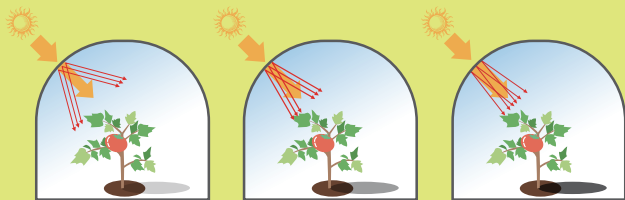
高い光拡散性能を実現した 防滴剤塗布型農POフィルム

カゲナシ和なごみ



光拡散性能

【イメージ図】



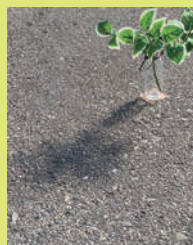
カゲナシ和

当社散乱農PO
カゲナシ5

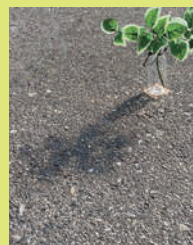
当社透明農PO
バツグン5

- ・太陽の光を散乱光に変換し、ハウス内に取り込みます。
- ・全光線透過率は透明タイプのフィルムと同等です。
- ・カゲナシ5に比べ光の拡散角度が大きくさらに作物のヤケや色づき向上が期待できます。

太陽光下でのフィルム越しのカゲの違い



カゲナシ和



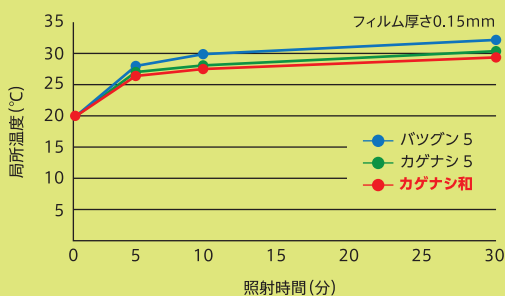
当社散乱農PO
カゲナシ5



当社透明農PO
バツグン5



局所温度上昇抑制効果



【試験イメージ】



試験方法

- ・人工太陽光を用い、フィルム越しに模型トマトへ光を照射
- ・サーモグラフィカメラにて最も温度が高い部分を経時で観察

測定結果

- ・カゲナシ和はバツグン5やカゲナシ5に比べ局所的な温度上昇が抑制されました。



耐硫黄性

特殊な耐候剤を配合したことにより、耐硫黄性未対応品に比べ、硫黄系農薬によるフィルム劣化を軽減します。

使用上のご注意

1. 本製品には表と裏があります。フィルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展張してください。
2. 解反・展張時に防滴剤処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにしてください。
3. フィルムの展張時には、しわ、たるみを伸ばす程度に軽く引っ張ってください。
4. ハウスバンド等との摩擦により破れることがありますので、ハウスバンドはゆるめに張り、換気作業は丁寧にしてください。
また、スプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかに行うか、専用の補助部材をご使用ください。
5. 高温時にフィルムどうしが融着するおそれがありますので、展張途中や保管には十分ご注意ください。
6. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合があるため、フィルムをよく乾燥させてから保管してください。
7. 土壌熱消毒及び高温環境下での展張等によりフィルムの防滴性能が低下するおそれがあります。
8. イオウ燻蒸や散布、及びイオウ含有農薬の付着により、フィルムの劣化が促進される場合があります。
9. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フィルム接触面が蓄熱により劣化する可能性があります。
10. 本製品は防霧仕様ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節や栽培環境によっては発生することがあります。
11. 内張りカーテン資材として使用した場合、防滴処理面の傷つき、処理面どうしの接着の可能性があります。
12. フィルムの“絞り”加工は防滴性能が低下する場合があります。



〒108-0073 東京都港区三田3-5-19(住友不動産東京三田ガーデンタワー) TEL (03)6435-1466

「タキロンシーアイ」、「カゲナシ」は、タキロンシーアイ株式会社の日本国における商標または登録商標です。



< ホームページ



< Instagram

2025.05